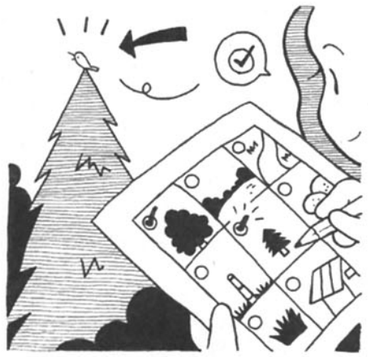
29 野鳥のいる場所を想像し、実際に探してみる。

バードビンゴ

野鳥を早くみつけられる人は、野鳥のいる場所を知っていて、その場所に目をやっているものです。野鳥を早くみつけられるようになれば、バードウォッチングも楽しくなること、うけあいです。

ねらい

野鳥を見る（みつける）のが楽しく（得意に）なる。
生物のいる場所を意識して自然をみることができるようになる。



達成目標

・野鳥のよく見られる場所を言うことができるようになる。
・活動の後に、記載した場所につい目をやるようになる。

導　入

野鳥はどんな場所によくいるでしょうか？ビンゴ用紙の使い方を説明し、鳥のいそうな（みつかりそうな）場所を９カ所書き込む。

本　体

個人（あるいはグループ）で歩きながら、鳥を探し、発見したポイントが自分のワークシートに書いてあったら○印の所にチェックする。最終的にいくつビンゴができたか数えてみよう。

ふりかえり・わかちあい

バードビンゴをやってみて、鳥の居場所について気づいたこと、感じたことを紹介し合う。鳥がよくいた場所、（用紙に書いたのに）みつからなかった場所を出し合ってみる。

まとめ

鳥が好きな人、バードウォッチングの経験がある人は、鳥の居場所をよく知っているので、早く見つけることができること、生物を探す時には生息場所を意識することが大切なことの一つであることを伝える。

実施のポイント

観察を始める前に、これから歩くコースの環境を簡単に説明しておくとよい。グループで実施するときには、グループ全員が確認したらチェックできる、などのルールを決めても楽しい。

◆所要時間	60分
◆人　　数	何人でも
◆関連教科等	総合的な学習の時間、理科
◆焦点を当てる能力	想像する、観察する、発見する、話し合う
◆準備するもの	ワークシート、クリップボード、筆記用具
◆安全のポイント	活動の範囲、危険な場所について活動前にきちんと伝える

評価の視点

一生懸命探し、チェックする作業をしていたかどうか、積極的に野鳥の居場所に関するコメントを言うことができたかどうか、など。

発展・応用

ビンゴのマスに、「ある場所からある場所への移動」「何をしているか＝行動」を記入してもよい。また、野鳥以外の（例えば昆虫など）でも同じように実施してみよう。

引用文献

「平成12年度環境教育活動報告書」
山のふるさと村ビジターセンター

オリジナル／自然教育研究センター

○	○	○
○	○	○
○	○	○

◆ どこで鳥がみつかるでしょうか？
9ヶ所を考えて、絵で描(か)きこみましょう。

◆ 描いた場所で鳥を見つけたら○の中にチェックをしましょう。

◆ ビンゴゲームであることを忘(わす)れずに。
みつかりそうなところをどこに書いたらいいのでしょう。

年　　月　　日　名前

観察(かんさつ)コース